

進学、進級おめでとうございます🌸 新学期に再確認したいことをまとめました。
保護者や地域の皆さまからご意見、ご提案をいただき一般質問や委員会で
質問したり、個別で確認済み。区でも既に実施されてます。



Q1 子どものランドセルが重い…

A 持ち帰りを減らすなど軽くして OK です。
(学校に教育委員会から周知し、学校から保護者への周知を実施)
ただし、学年、学習内容などにより持ち帰るもの、置いて OK のものが変わります。
学校から周知されるのでご確認をお願いします。



Q2 子どもの成長や学校生活で心配になることがある

A 園や学校にご相談ください。

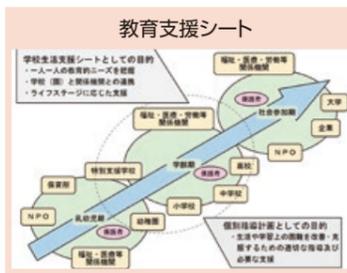


ご相談例 学習や成長についての場合

千代田区では、園や学校で教育的支援が必要なお子さんに切れ目のない支援を行えるよう、子どもの発達や成長の支援について可視化し、関係者と共有することで個別の支援が受けられる『教育支援シート』を作成しています。

教育支援シートの目的

- 学校(園)生活支援のため ●個に応じた適切な教育や指導を行う計画のため
- シートは関係機関と連携し、保護者の意見等を聴きながら、学校(園)が中心となり作成します。



ご相談例 経済的なことでお困りの場合

就学援助制度が設けられています。コロナ禍で生活が一変したように、経済事情の急変は誰にでも起こりうることです。まずは、躊躇せずご相談を。

援助例の一部をご紹介します

- 学用品 ●通学用品購入費 ●新入学児童生徒学用品 ●通学用品購入費 ●学校給食費 など
- ※くわしくは区のホームページ「就学援助」で確認できます。



Q3 学校への欠席の届け出が電話だと大変。
連絡事項もプリントだけでなくオンラインにならないの？

A 区内の公立校は、オンラインで連絡できるよう整えられています。
ただ、活用は各校、学級によって違うのでお問合せください。



千代田区政 REPORT

令和5年
春号

千代田区議会議員

小野 なりこ



小野なりこ プロフィール

1973年2月 鹿児島生まれ 【家族】夫、娘(21歳)
【趣味】人をつなぐ・カラオケ・芸術鑑賞・飲食店巡り。
短大卒業後、日系航空会社(客室乗員部)勤務を経て独立。
企業の人材育成や組織開発を支援。
2019年4月の統一地方選挙で初当選。
現在、千代田区議会議員1期目。

【所属】東京商工会議所と女性会
麹町消防団第一分団
【所属委員会】地域文教委員会
議会運営委員会
災害対策・危機管理特別委員会
議会のあり方調査検討特別委員会



次世代育成を目的とした学生インターンを受け入れています。活動実績 4年間で15名以上が一緒に活動

活動をととして

1. 政治は自分たちの暮らしに直結する身近で大切なことと感じてもらう。
2. 議会傍聴・イベント・議事まとめ・打合せ陪席・政策立案など各種活動をととして、自分の成長や変化を実感できる機会とする。

日々の活動



千代田区長 樋口高嗣様
提案・要望書
VUCA時代に翻弄されない
地域社会のレジリエンス
～持続可能な共生社会の推進～

千代田区長 樋口高嗣様
提案・要望書
VUCA時代を乗り越え
持続可能な共生社会を推進する

皆さまとの意見交換などをもとに、問題解決の要望、未来の千代田区に必要な政策を提案している。
毎年振り返りと更新、理由を共有。4年間の全体像を確認。



バリアフリー化の実態調査を当事者目線で実施し、バリアフリーマップに登録していく作業に参加。ユニバーサル視点の重要性を実感。



区民有志と大学連携によるインクルーシブな遊びの企画。多世代で段ボールを使った作品を自由に制作し子ども達がダイナミックに遊ぶ体験の視察。



動物との共生の中で「災害対策」「飼い主に万が一が起きた時」を問題提起。飼い主の皆さまに共有したい課題の啓発、広報を提案し、猫まつり(千代田区共催)で実現。
【ご協力】一般財団法人ちよだキャンとなる会



お声を聴きに伺います! お気軽にご連絡ください。

〒102-8688 千代田区九段南 1-2-1 区役所7階 都民ファーストの会千代田区議会

TEL 090-2681-8976 E-mail ono-nariko@jb-collabo.jp

●●● 皆さまのお声をもとに提案しました ●●●

必要な情報を便利に分かりやすく!

1 千代田区 公式 LINEの導入 実施済

令和5年
3月末現在
登録者数 **19,315名**

コロナ禍で情報の変更が多発し、紙の情報提供だけでは対応難。



タイムリーに各種情報を行政側から届けるツールの必要性が急務。

2 「おくやみハンドブック」で各種情報一覧を作成予定 推進決定

ご遺族の多岐にわたる事務的手続きの支援

任期中、父の急逝はじめ身近な親族の他界後に悲しむ間もない事務的煩雑さを経験。区民のご遺族からも同様のご相談などあり支援策の必要性を痛感。



5 带状疱疹ワクチンに助成を! 50歳以上が助成対象 R5実施



後遺症などで生活の質が低下することを予防する策としてワクチン接種が有効とされる。自費の負担を軽減するため助成を決定。

6 全ての学童クラブでお弁当配食が利用可能に! 実施済

小学校が夏休みの時など、お弁当2食持参についての安全性や保護者の負担についてご相談を受け、未実施の学童も昨年の夏季休暇から全学童開始。



7 区内の児童館の日曜開放、まずは2カ所追加から(富士見・いずみ) R5実施

区立4館の日曜全館開放を要望していましたが、最終で人員調整が叶わず月1回日曜開館を2カ所追加で本年度対応となりました。引き続き全館の日曜開館に向けて取り組みます。



8 働き方の新たな選択肢と障害者の雇用形態を増やすための第一歩 一部実施



▲区役所3階で分身ロボット OriHime の展示と体験会

▲分身ロボットカフェ DAWN 視察

ソーシャルファーム認定企業が増えるようPR。分身ロボットオリヒメの活用などで共生&共創の視点から障害者、発達障がい、家族の介護中でも就労を可能に。

3 デジタル地球儀を活用した ICT教育で子ども達の探究心を育む R5実施



決まった正解に導く教育だけでは未来の問題に挑むことは難しい。現在の常識が未来の非常識になりうるVUCA時代を生きる子ども達の学びの機会をアップデートできるツールが必要と実感。

4 発達に特性ある子ども達の多様化に対する適切な支援策を公に協議する 会議体新設 R5実施



子どもの多様化する発達を適切に支援できるよう、保護者への情報提供と支援、学校、園、学童の現場で問題の抽出と課題化、解決への道筋を整理、行政が動くべき優先課題。

9 インクルーシブな視点で公園を整備 R5実施



公園が障害の有無にかかわらず行きやすい場所になるよう整備し、自然なかかわりから生まれるつながりで共生社会を推進する。

10 首都直下地震を想定した飼い主の備え 一部実施

千代田区は「地区残留地域」なので在宅避難が原則。ペットのための防災備蓄や事前の準備について、ペットのための防災減災を「猫まつり」で展示。行政は持ち帰り用の資料を設置し啓発。



【パネル製作協力】一般財団法人ちよだニャンとなる会